サイエンスカフェの概要について（事後報告）

１．開催日時：令和８年９月 23 日（水）14:00～15:30

２．開催場所：平和祈念展示資料館ラウンジ

３．関係団体等：平和祈念展示資料館

４．役割

挨拶　増田弘　　平和祈念展示資料館館長
司会　鈴木基史　日本学術会議会員　京都大学名誉教授
講演　大内啓樹　奈良先端科学技術大学院大学准教授
　　矢野桂司　日本学術会議会員　立命館大学文学部教授

５．概要：

満州からの引揚げを経験した人々の手記には、移動の道のり、不安や恐怖、家族や周囲の人々との関わりなど、一人ひとりの体験が具体的な言葉で残されています。本サイエンスカフェでは、AI を用いて、労苦体験手記『平和の礎』に記された場所、出来事、感情、人間関係などを分析し、無数の「ひとり」が紡いだ記憶から何が見えてくるのかを紹介します。AI は、過去を機械的に「解読」したり、歴史の正解を与えたりするものではありません。むしろ、多くの手記を横断的に読み、見落とされがちな言葉やつながりに気づくための手がかりになります。今回のサイエンスカフェでは、満州引揚げの記憶に向き合いながら、歴史資料を AI とともに読むことの可能性と難しさについて、一般の方にもわかりやすい講演が行われました。定員を越える参加者が集まり、講演後の質疑応答でも内容に合致した的確な質問・意見が出され、講演者も親切に返答しておられました。

６．参加人数

（講演者等）４名
（その他の参加者）７８名

７．特記事項：

内容に関するアンケート調査が行われ、それらから参加者の理解度や満足度が高かったことが示されました。